

平成29年度 重点事業要望説明会

7月26日、県に対する平成29年度重点事業要望説明会を開催しました。今年度は、最重点事業5件のほか、重点事業5件を要望しました。また、五所川原圏域定住自立圏の中心市として2市4町の共通の課題について広域要望として要望しました。



最重点事業

医師確保対策について（継続・広域要望）

五所川原圏域における安心・安全な医療体制を確保していくため、常勤医師確保が困難なつがる総合病院の特定診療科、救急医療、サテライト医療機関並びに圏域の公的診療所の医師確保をお願いしたい。

県回答

本病院機能再編は、全国的にもモデルとなる事業であり、つがる総合病院の充実、県としても重要なことと捉えている。医師数自体は増えているが、診療科の偏在が課題であると捉えており、地域医療構想を進めていくためにも、今後とも特段の配慮をしていきたいと考えている。

津軽自動車道の整備促進について（継続・広域要望）

高規格幹線道路「津軽自動車道」は、地域救急医療体制や広域観光ルートの周遊性向上等の大きな整備効果が期待される。当圏域および津軽半島地域活性化のため、計画段階評価区間の早期事業化、並びに浪岡五所川原道路の付加車線の整備をお願いしたい。

県回答

津軽自動車道を始めとする高規格幹線道路の整備促進は、県としても重点施策として国に対して提案をしてきた。鱒ヶ沢道路については、7月30日から供用開始が発表されたところである。浪岡五所川原道路については更なる利便性・安全性の向上を図るため、一部区間において付加車線設置工事を実施している。柏・浮田間については地元意見聴取などの計画段階評価を進めており、県としても引き続き関係機関と連携して早期の事業化が図れるよう国に働きかけていきたい。

七里長浜港への大型旅客船の誘致について（新規・広域要望）

本港は圏域の観光スポットへのアクセスが容易な位置にあることから、観光の玄関口として大型旅客船の誘致に向け、ポートセールの充実についてお願いしたい。

県回答

平成9年に開港以来、大型旅客船は11回の入港をしている。「白神山」や「立佞武多」といった観光資源へのアクセスが良いことから、七里長浜港利用促進協議会と連携しながら、ポートセールスを続けていきたい。

観光振興対策について（継続）

地域活性化および外貨獲得を図るため、県外への情報発信の強化、インバウンド対策、グリーンツーリズムの推進、教育旅行の誘客活動、空路利用促進のための中京圏・関西圏からの誘客、新幹線開業効果を活かす北海道からの誘客活動について県との連携強化を図り更なる効果促進をお願いしたい。

県回答

県としても、観光振興に向け各要望事項については関係団体との連携を深めながら、商品・コンテンツの開発とPRを進めたいと考えている。情報発信については、五所川原市と連携して銀座のソニービルの壁面に立佞武多を設置し、大きな反響を受けた。また、首都圏および北海道からの誘客については、JRと各自治体が連携して行うデスティネーションキャンペーンを行っている。これを起爆剤としながら誘客に努めたいと考えている。また、北海道についてはキャンペーン終了後も誘客プロモーションを既存の取組と併せて重点的に行いたいと考えている。中京圏・関西圏からの誘客については10市大祭典のPRも兼ねて旅行エージェンツへのセールス活動を行った。県民向けのイベント

だった10市大祭典を県外からの誘客という視点で関係団体と連携することににより効果を高めるよう努めている。

青森テクノポリスハイテク工業団地漆川への企業誘致促進について（継続）

次代を担う若年層や地域求職者に安定した就業環境を提供するため、青森テクノポリスハイテク工業団地漆川への企業誘致対策をお願いしたい。

県回答

県では、農工食品関連分野を始めとして県の強みを生かした企業誘致活動や支援制度の拡充に努めている。津軽自動車道によるアクセスの良さなどの優位性をPRしていきたい。

重点事業

▽国民健康保険に係る国庫負担金および交付金の減額調整の廃止について

▽国道339号の整備促進について

▽主要地方道屏風山内真部線の整備促進について

▽電線類の地中化の推進について

▽一級河川岩木川水系における治水事業の促進について